



(防府)府

第四七次調査地は、国府
中心部「二町域」の北西側
に接する位置にある。土層
の観察を主眼とした幅3m

次を数える。

周防国府跡は、国府遺跡を代表するものとして、中心部の二町域、

として指定地以外の国府域
の調査を継続的に行ってお
り、一九八六年度末で四七
次を数える。

「三家山公」については、人名である可能性が高い。その下の三
文字については墨書きはしっかりといるものの該当する文字がわ
からない。

(吉瀬勝康)

(817)×31×11 019

(1) 「三□山公□ □□□

山口・周防国府跡

のトレンチで、奈良～平安時代の自然河川と人工的な溝を検出した。
この自然河川遺構の奈良時代の埋土である中層から木簡が一点出土
した。伴出遺物には須恵器、土師器、木製盤などがある。

1 所在地 山口県防府市多々良

2 調査期間 一九八六年(昭61)一二月～一九八七年三月

3 発掘機関 防府市教育委員会・周防国府跡調査会

4 調査担当者 吉瀬勝康

5 遺跡の種類 官衙跡

6 遺跡の年代 奈良時代～江戸時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要